"アルビクス" VA ERROR DETECTION UNIT VAD-2000SR





御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の 指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

注意事項	•	•	•	•	•	2
1.主な機能と特長	•	•	•	•	•	3
2.仕様	•	•	•	•	•	4
3.各部の名称と機能	•	•	•	•	•	6
4 . 接続方法	•	•	•	•	•	14
5.エラー検知項目	•	•	•	•	•	15
6.映像比較位置・サイズ調整	•	•	•	•	•	17
7.IPアドレスの設定	•	•	•	•	•	22

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい(安全にお使いいただくために)

警告

内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。 (火災や感電、故障の原因となります。)

煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜い て販売店に御連絡下さい。

注意

電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。 (感電やショート、火災の原因となります。)

電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。 (電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)

電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。 (感電やショート、火災の原因となります。)

仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。 (火災や感電の原因となります。)

お願い

風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。 (故障の原因となります。)

次の様な所には置かないで下さい。 湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く 埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動の ある所、安定しない台の上、傾いた所 (故障の原因となります。)

1.主な機能と特長

1.1 VAD-2000SRの特長

局内側(エンコーダ前段の映像信号)とIRD/STB 側(On Air 側映像信号) を比較し、映像・音声のエラーを検出し、エラー内容を正面 VFD / LED とSNMPエージェントにより外部へ通知します。

局内側ビデオ信号を遅延させ、IRD/STB 側の受信ビデオ信号と 同期させます。

局内側ビデオ信号と IRD/STB 側ビデオ信号の遅延量は、映像変化の特徴 を検出することで、フレーム単位で計測されます。

局内側ビデオ信号とIRD/STB 側ビデオ信号を同期させることで、 両ビデオ信号の比較を行います。

局内側音声信号とIRD/STB 側音声信号を同期させ、両音声信号の 相関性を計測することで、音声の比較を行います。

局内側または IRD/STB 側ビデオ信号に重畳された局間情報

(ARIB STD-B39 形式)内の音声モード情報を読み取り、 音声信号の比較を常に最適な状態で行います。

局内側映像 / IRD/STB 側映像 / 合成映像 / 3 画面分割映像(局内側、 IRD/STB 側、合成) / 差分映像 / フィルタ映像から選択した信号が SD-SDI 信号で出力され、目視による画像比較も可能です。 また、選択した映像信号は本体内に約 24 時間まで同時録画され、録画さ れた映像の任意の部分(例:映像比較エラー発生部分)を 再生ソフト経由で再生可能です。

エラー情報を記録したメタデータを同時録画映像に重畳し、 再生ソフトでの映像再生時に映像と共に読み取る事で、 発生したエラーの内容をフレーム単位で確認する事が可能です。

2.仕様

S D I	I #1(局内側〕 入力信号数 信号形式)映像・音声入力信号 : 1 系統 :映像 :HD-SDI(SMPTE292M、1080i) SD-SDI(SMPTE259M-C、480i[D1])
	入力接栓 スルー出力 スルー出力接栓	: 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch/8ch : BNCコネクタ : 1系統(バッファスルー) : BNCコネクタ
S D I	I #2(IRD/ST 入力信号数 信号形式	「B 側)映像・音声入力信号 : 1 系統 :映像 :HD-S D I(SMPTE292M、1080i) SD-SDI(SMPTE259M-C、480i[D1])
	入力接栓 スルー出力 スルー出力接栓	: 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch/8ch : BNCコネクタ : 1系統(バッファスルー) : BNCコネクタ
局内	LTC 信号入力 入力信号数 信号形式 入力接栓 スルー出力 スルー出力接栓	: 1 系統 : SMPTE 12M : B N C コネクタ : 1 系統 : B N C コネクタ
局内I	リファレンス信 ^号 入力信号数 信号形式 入力接栓 スルー出力	号入力 :1 系統 :NTSC ブラックバースト信号 / 3 値同期信号 : B N C コネクタ :1 系統

映像モニタ出力信号

スルー出力接栓: BNCコネクタ

出力信号数	:2系統
	(SDI#1/SDI#2/調整用比較映像/
	3 分割映像 / 差分映像 / フィルタ映像から選択)
信号形式	: SD-SDI
出力接栓	:BNCコネクタ

糼	K	立	R	ì	圅	4	п	
1	ľ		IJ	J	ᆷ	ᆞᄼ	н	

通信仕様	:100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
プロトコル	: SNMP V2
コネクタ	: R J - 4 5 モジュラ

同録映像出力(外部通知コネクタとは別個にコネクタを実装)

: 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
: TCP/IP
: R J - 4 5 モジュラ

外形寸法	:W4	30	×	H44	×	D470	mm
質 量	:約	5	k g				
電源電圧	: 10	0 V	± 1	0 %	ΑC	50/6	50Hz
消費電力	:約	50	W				
使用温度	: 5	~	4	0			

直近同時録画機能

録画映像	:	SDI#1/SDI#2/調整用比較映像/ 3 分割映像/差分映像/フィルタ映像から 選択
映像フォーマット	:	720*480 ピクセル JPEG 圧縮
録画音声	:	48KHz 16bit リニア PCM 2ch
同録時間	:	約 2 4 時間

3. 各部の名称と機能

3.1. フロントパネルの機能



- ・映像モニタ出力です。
- ・出力は SD-SDI 信号です。
- ・下記から選択した映像を出力します
- (正面 VFD メニューまたは VAD 監視ソフトから選択可能です)
- (1) SDI#1映像
- SDI#1の映像を出力します。
- (2)SDI#2 映像
 - SDI#2の映像を出力します。
- (3)調整用比較映像
 - SDI#1、SDI#2映像を下図のように合成して出力します。



- (4)3分割映像
 - SDI#1、SDI#2、調整用比較映像を分割出力します。 (画面上部に調整用比較映像、画面下部左にSDI#1映像、



- : SDI#1 音声レベルバー
 - SDI#1 音声レベルを表現します。
 - 最大 8 本 (8 c h 分)表示します
- : SDI#2 音声レベルバー SDI#2 音声レベルを表現します。
- 最大 8 本 (8 c h 分) 表示します。
- : 色差比較状態バー
- 色差比較状態を表現します。
- : 音声比較状態バー 音声比較状態を表現します。
- (5)差分映像
 - SDI#1映像とSDI#2映像の差分を出力します。
- (6)フィルタ映像 映像比較回路前段プリフィルタの目視確認用映像を出力します。

3 . VFD

・状態表示 / 調整用 VFD ディスプレイです。
 (詳細は 10 ページを参照)

- 4 . + / / SEL / MENU ボタン
 - ・調整用ボタン SW です。 (詳細は 12、16 ページを参照)
- 5.VIDEO ERROR LED表示(BASE)
 - ・ S D I #1 V I D E O
 S Y N C S D I #1 入力に同期断を検出した時に点灯します。
 F R E E Z E S D I #1 入力 B A S E でフリーズを検出した時に点灯します。
 B L A C K S D I #1 入力 B A S E で黒味を検出した時に点灯します。
 L E V E L S D I #1 入力 B A S E でレベル異常を検出した時に点灯します。
 ・ S D I #2 V I D E O
 S Y N C SDI#2 入力に同期断を検出した時に点灯します。
 F R E E Z E SDI#2 入力 B A S E でフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI#2 入力BASEで黒味を検出した時に点灯します。
 - L E V E L SDI#2 入力 B A S E でレベル異常を検出した時に点灯します。
- 6.VIDEO ERROR LED表示(WINDOW)
 - SDI#1 WINDOW
 - FREEZE SDI#1 入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI#1入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。
 - SDI#2 WINDOW
 - FREEZE SDI#2入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI#2入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。
- 7.AUDIO ERROR LED表示
 - SDI#1 AUDIO

CH1	SDI#1 AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	SDI#1 AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	SDI#1 AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	SDI#1 AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。
CH5	SDI#1 AUDIO CH5 で無音を検出した時に点灯します。
CH6	SDI#1 AUDIO CH6 で無音を検出した時に点灯します。
CH7	SDI#1 AUDIO CH7 で無音を検出した時に点灯します。
CH8	SDI#1 AUDIO CH8 で無音を検出した時に点灯します。

• SDI#2 AUDIO

CH1	SDI#2 AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	SDI#2 AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	SDI#2 AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	SDI#2 AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。
CH5	SDI#2 AUDIO CH5 で無音を検出した時に点灯します。
CH6	SDI#2 AUDIO CH6 で無音を検出した時に点灯します。
CH7	SDI#2 AUDIO CH7 で無音を検出した時に点灯します。
CH8	SDI#2 AUDIO CH8 で無音を検出した時に点灯します。

8.メンテナンスコネクタ

・通常は使用しません。カバーを外さないで下さい。

3.2. リアパネルの機能



- SDI#1 INPUT
 SDI#1 映像・音声信号入力コネクタです。
- 2.SDI#1 THRU
 - ・SDI#1映像・音声信号スルー出力コネクタです。
 SDI#1 INPUTに入力された信号をバッファスルー出力します。
- 3.SDI#2 INPUT
 ·SDI#2 映像・音声信号入力コネクタです。
- 4.SDI#2 THRU
 •SDI#2 映像・音声信号スルー出力コネクタです。
 SDI#2 INPUTに入力された信号をバッファスルー出力します。
- 5.LTC INPUT
 - ・局内LTC信号入力コネクタです。
 ・本コネクタからLTC信号を入力する事で、エラー発生時にLTCを 通知する事が可能になります。
 (入力が無くても映像/音声エラー検知は可能です)
- 6.LTC THRU
 ・局内LTC信号スルー出力コネクタです。
- 7.REF. INPUT
 ・局内リファレンス信号入力コネクタです。
 ・本コネクタからリファレンス信号を入力する事で、
 リファレンス信号に対してのSDI#1/SDI#2映像の周期状態
 (早い/遅い/ロック)を測定する事が可能になります。
 (入力が無くても映像/音声エラー検知は可能です)
- 8.REF. THRU
 - ・局内リファレンス信号スルー出力コネクタです。

- 9.ADJ.MONITOR
 ・映像調整用比較映像モニタ出力です。
 ・フロントパネルのADJUST MONITORと同じ信号が出力されます。
- 10.ETHER(SNMP)
 ・監視ソフトとのSNMP通信用LANインターフェースコネクタです。
- 11.ETHER(REC)
 ・同時録画映像再生ソフトへの映像出力用LANインターフェース コネクタです。
- 12.AC INPUT ・AC 入力(3P インレット)です。

3.3. VFD の機能

1.通常状態



1.SDI#1 INPUT

・SDI#1信号(局内側)の状態を表示します。

SDI 信号状態	VFD 表示
HD-SDI 信号を入力	HD
SD-SDI 信号を入力	S D
入力信号なし	NG(点滅表示)

2.SDI#2 INPUT

・SDI#2信号(IRD/STB側)の状態を表示します。

SDI 信号状態	VFD 表示
HD-SDI 信号を入力	HD
SD-SDI 信号を入力	S D
入力信号なし	NG(点滅表示)

3. DELAY

・映像ディレイ値をフレーム数単位で表示します。

4.VIDEO

・映像比較の不一致ブロック数を表示します。

5.CH1

・音声比較CH1の不一致逆相関値を表示します。 不一致逆相関値は、音声の一致している度合いが高い程低くなります。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)

6.CH2

・音声比較CH2の不一致逆相関値を表示します。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)

7.CH3

・音声比較CH3の不一致逆相関値を表示します。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)

8.CH4

・音声比較CH4の不一致逆相関値を表示します。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます) 2.本体バージョン/IPアドレス

本体バージョン画面

a a a . b b b . c c c . d d d	V	Α	D	-	2	0	0	0	S	R			۷.	X	Χ
	а	а	а	•	b	b	b	•	С	С	С	d	d	d	

同録IPアドレス画面

R	е	С	0	r	d		Ι	Ρ	:					
е	е	е		f	f	f	•	g	g	g	h	h	h	

電源投入時に、本体バージョンとIPアドレスを約5秒間、同録側IPアドレスを 約5秒間表示します。

(表示終了後に通常状態に移行します)

本体バージョン画面)

上段のV××の部分には本体バージョンを表示します。

(本体バージョンがV01の場合、××の部分は「01」と表示します)

下段の a a a . b b b . c c c . d d d の部分には、S N M P 通信用 L A N の

IPアドレスを表示します。

(IPアドレスが192.168.100.101の場合、aaa.bbb.ccc.ddd の部分は「192.168.100.101」と表示します)

同録 I P アドレス画面)

下段の e e e . f f f . g g g . h h h の 部分には、同録用 L A N の

IPアドレスを表示します。

(IPアドレスが192.168.100.102の場合、eee.fff.ggg.hhh の部分は「192.168.100.102」と表示します)

本体の起動後は、通常状態時に + / - / SEL ボタンのいずれかを押す事で 本体バージョン / I P アドレスを約5秒間、同録 I P アドレスを約5秒間表示します。 (表示終了後に通常状態に戻ります)。

3.調整メニュー

通常状態時にMENUボタンを押す事で、調整メニューが表示されます。 (調整メニュー/調整方法の詳細は「5.映像比較位置/サイズ調整」を参照)

調整メニュー表示中に何もボタンを押さずに約1分間放置した場合は 自動的に通常状態に戻ります。

4. 接続方法



- 1:映像比較を行う為には、SDI#1映像とSDI#2映像は同一の映像である 必要があります。 また、SDI#1映像に対して、SDI#2映像が0~150フレーム遅延している必要が あります。 (SDI#1映像の方が遅延している場合は映像比較が出来ません)
- 2: 局内 LTC 信号を入力する事で、エラー発生時に LTC を通知する事が可能になります。 (入力が無くても映像/音声エラー検知は可能です)
- 3:局内リファレンス信号を入力する事で、リファレンス信号に対しての SDI#1/SDI#2映像の周期状態(早い/遅い/ロック)を測定する事が 可能になります。
 - (入力が無くても映像/音声エラー検知は可能です)

5.エラー検知項目

本機のエラー検知項目を以下に示します。

(詳細は「VAD-2000SR 監視ソフトウェア取扱説明書」 VAD-2000SR SNMP 通信仕様」 を参照)

5	. '	1	、基本エラー検知((SDI#1とSDI#2で別個に検知)
-	•	•		

エラー項目	内容
入力同期	SDI信号入力同期の有無を検知します
入力タイミング	SDI信号種別 (HD-SDI:1080i / SD-SDI:480i) を
	検知します
映像フリーズ	前の映像に対して輝度差 5IRE 以下のドットの割合が検出面積
	しきい値を越える場合をフリーズとして検知します
映像黒味	輝度 4IRE 以下のドットの割合が検出面積しきい値を越える場
	合を黒味として検知します
映像輝度レベル上限 / 下限	輝度上限しきい値を上回る、または下限しきい値を下回る輝度
	のドットの割合が 25%を越える場合を輝度レベルエラーとし
	て検知します
映像色差レベル上限 / 下限	色差上限しきい値を上回る、または下限しきい値を下回る色差
	のドットの割合が 25%を越える場合を色差レベルエラーとし
	て検知します
VITC 有無	VITC の有無を検知します
VITC 状態	VITC の状態(ドロップフレーム / ノンドロップフレーム)を
	検知します
VITC 不連続	VITC 値の不連続を検知します
音声無音	1 秒毎の音声レベルピーク値(0dB がフルスケール/-60dB
	が完全無音)が無音しきい値を下回る場合を無音として検知し
	ます
音声レベル	1 秒毎の音声レベルピーク値がレベル低しきい値を下回る、ま
	たはレベル高しきい値を上回る場合を音声レベルエラーとして
	検知します
音声エンベデッド無し	エンベデッドオーディオ無しの状態を検知します
音声 1 KHz	1KHzの音声を検知します
音声逆相	音声逆相を検知します
	(Ch1/Ch2 間、Ch3/Ch4 間、Ch5/Ch6 間、
	CH7/CH8 間の逆相を検知します)

5 . 2 . ANC 情報検知(S D I # 1 とS D I # 2 で別個に検知)

検知項目	内容
NetQ 状態	S D I 映像に重畳された NetQ の状態 (NetQ の有無 / 映像フ
	ォーマット情報 / フレームレート情報 / アスペクト比 / 音声モ ード)を検知します
字幕有無	SDI映像に重畳された字幕の有無を検知します

5.3.LTC/リファレンス状態検知

検知項目	内容
LTC 状態	局内 LTC 信号入力の有無を検知します。
	局内 LTC 信号を入力する事で、エラー発生時に LTC を通知す
	る事が可能になります。
リファレンス状態	局内リファレンス信号入力の有無を検知します
	局内リファレンス信号を入力する事で、リファレンス信号に対
	してのSDI#1/SDI#2映像の周期状態(早い/遅い/ロ
	ック)を測定する事が可能になります。

5.4.比較エラー検知

エラー項目	内容
映像遅延量	SDI#1 映像に対する SDI#2 映像の遅延をフレーム単位で通知
	します
映像比較	画面を 12 x 8=96 ブロックに分割し、SDI#1 / SDI#2 映像の
	輝度を各ブロック毎にドット単位で比較して不一致ブロックを
	判定します
	(SDI#1 / SDI#2 映像のフレームずれは±4 フレームまで
	許容します)
色差比較	SDI#1/SDI#2 映像の色差を集計し、両者の傾向を比較する
	事で色差比較を行います
音声遅延量	SDI#1 音声に対する SDI#2 音声の遅延をフレーム単位で通知
	します
音声比較	SDI#1/SDI#2 音声の相関性を計測する事によって
	音声の比較を行います。
	比較する音声chは、Ch1/Ch2、Ch3/Ch4、Ch5/Ch6、
	CH7/CH8、ダウンミックスの中から 2 組を選択します。
	また、SDI#1 または SDI#2 映像に重畳された NetQ 情報から
	読み出した音声モードに連動して、音声 c h の
	組み合わせを自動設定する事が可能です。

5.5.測定項目(SDI#1とSDI#2で別個に測定)

測定項目	内容
音声信号レベル	1 秒毎の音声レベルピーク値を取得します
映像周期状態	リファレンス信号に対しての周期状態(早い/遅い/ロック) を取得します。
	<u>リファレンス信号を入力する事で測定可能となります。</u>

5 .6 .測定項目(映像 / 音声比較状態)

測定項目	内容
映像遅延量	SDI#1 映像に対する SDI#2 映像の遅延量を取得します
音声遅延量	SDI#1 音声に対する SDI#2 音声の遅延量を取得します
映像比較状態	映像比較の不一致ブロック数を取得します
色差比較状態	色差比較の状態(ベクトル値:0°~180°)を取得します
音声比較状態	音声比較の状態(不一致逆相関値:0~100)を取得します
	(音声比較 CH1~CH4 の状態を取得可能)

6.映像比較位置/サイズ調整

SDI#1(局内側)映像とSDI#2(IRD/STB側)映像は、 表示位置/画面サイズが異なっていると正しく映像比較を行う事が出来ません。 したがって、画角/表示位置/画面サイズを調整する必要があります。 VAD監視ソフトが存在しない時に表示位置/画面サイズを設定する為には 調整メニューで設定値の変更を行います。 VAD監視ソフトが存在する場合は監視ソフト側で表示位置/画面サイズを 設定出来るので、調整メニューを使用する必要はありません。

1.比較画像の確認

VADに比較対象となる局内側映像とIRD/STB側映像を入力した状態で 同録映像信号をAdjustに設定し、ADJUST MONITOR出力に モニタを接続して映像調整用比較映像を確認します。

- 2.調整メニューの表示 VFD表示が通常状態の時にMENUボタンを押し、調整メニューを表示します。 調整メニュー画面の内容は、下記の規則に従って変化します。 (次ページの画面遷移図の ~ が、調整メニューの画面 ~ 画面 に対応します)
 - (1)通常状態の時にMENUボタンを押すと、画面 が最初に表示される。
 - (2)画面の状態からSELボタンを押すたびに画面 画面 …と 表示画面が順に変化し、画面の状態で更にSELボタンを押すと画面 に戻る。
 - (3) 画面 ~ 画面 のいずれかの状態でMENUボタンを押すと通常画面に戻る。
 - (4)画面 ~画面 のいずれかの状態で何もボタンを押さずに 約1分間放置すると自動的に通常状態に戻る。
- 3.表示位置/画面サイズを調整

局内側映像とIRD/STB 側映像の画角 / 表示位置 / 画面サイズが一致するように 調整メニューで調整を行います。 調整終了後は設定値を控えておき、VAD 監視ソフト上で同じ値を設定します。 VAD 本体の電源を切断すると設定値は初期化されるので、調整メニューで調整を行った 表示位置 / 画面サイズ設定値を VAD 監視ソフト上で設定する必要があります。

画面遷移図)



·画面 : 同録映像設定

R	е	С	V	i	d	е	0						
								Α	d	j	u	S	t

同時録画する映像を+ボタンと-ボタンで選択します。 ADJUST MONITOR映像出力コネクタからも、本項目で設定した映像が モニタ出力されます。 初期値はAdjustです。

V F D 下段表示	設定
SDI#1	SDI#1映像を録画 / モニタ出力する
S D I # 2	SDI#2 映像を録画 / モニタ出力する
Adjust	調整用比較映像を録画 / モニタ出力する
S D I # 1 / S D I # 2	3分割映像(SDI#1/SDI#2/比較)を
	録画 / モニタ出力する
Diff	SDI#1とSDI#2の差分映像を
	録画 / モニタ出力する
Filter	フィルタ映像(映像比較前段のプリフィルタを通
	った映像) を録画 / モニタ出力する

・画面 : 同録音声設定

R	e	С		A	u	d	i	0							
			S	D	Ι	#	1		С	h	1	1	С	h	2

同時録画する音声を + ボタンと - ボタンで選択します。 初期値はSDI#1 Ch1/Ch2です。

V F D 下段表示	設定
SDI#1 Ch1/Ch2	SDI#1のモニタ音声Ch1/Ch2を録画する
	(in1CmpAudio1Sel(1.0)で選択した音声)
SDI#1 Ch3/Ch4	SDI#1のモニタ音声Ch3/Ch4を録画する
	(in1CmpAudio2Sel(1.0)で選択した音声)
SDI#2 Ch1/Ch2	SDI#2のモニタ音声Ch1/Ch2を録画する
	(in2CmpAudio1Sel(2.0)で選択した音声)
SDI#2 Ch3/Ch4	SDI#2のモニタ音声Ch3/Ch4を録画する
	(in2CmpAudio2Sel(2.0)で選択した音声)

・画面 : SDI#1 画角設定

SDI#1映像の画角を+ボタンと-ボタンで選択します。 初期値は Squeeze です。

V F D 下段表示	設定
Squeeze	スクイーズ
SidePanel	サイドパネル
SideCut	サイドカット
LetterBox(16:9)	レターボックス(16:9)
LetterBox(14:9)	レターボックス(14:9)

・画面 : SDI#2 画角設定

S	D	I.	#	2	Α	S	р	е	С	t				
								S	q	u	е	е	Z	е

SDI#2 映像の画角を + ボタンと - ボタンで選択します。 初期値は Squeeze です。

V F D 下段表示	設定
Squeeze	スクイーズ
SidePanel	サイドパネル
SideCut	サイドカット
LetterBox(16:9)	レターボックス(16:9)
LetterBox(14:9)	レターボックス(14:9)

・画面 :水平位置



VFD の下段右端に表示された水平位置を + ボタンと - ボタンで調整します。 (+ ボタン:値が増加 / - ボタン:値が減少) 設定範囲は 420~580 で、初期値は 500(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI#2 映像が右方向に移動します。

・画面 : 垂直位置

V Ρ s i t i 0 0 n 5 0 0

VFD の下段右端に表示された垂直位置を + ボタンと - ボタンで調整します。 (+ボタン:値が増加/-ボタン:値が減少) 設定範囲は 475~525 で、初期値は 500(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI#2 映像が上方向に移動します。

・画面 :水平方向サイズ

H S	i	Ζ	е	•		
				5	0	0

VFD の下段右端に表示された水平サイズ値を + ボタンと - ボタンで調整します。 (+ ボタン:値が増加 / - ボタン:値が減少) 設定範囲は 420~580 で、初期値は 500(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI# 2 映像の水平サイズが拡大されます。

・画面 :垂直方向サイズ

V	S	i	Ζ	е	÷		
					5	0	0

VFD の下段右端に表示された垂直サイズ値を + ボタンと - ボタンで調整します。 (+ボタン:値が増加/-ボタン:値が減少) 設定範囲は 410~590 で、初期値は 500(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI# 2 映像の垂直サイズが拡大されます。 ・画面 : ディレイ量設定



VFDの下段右端に表示されたディレイ量を+ボタンと-ボタンで調整します。
(+ボタン:値が増加/-ボタン:値が減少)
設定範囲は0~150(フレーム),997(音声比較モジュール1基準で計測),998(音声比較モジュール2基準で計測),999(映像基準で計測)で、初期値は0です。

・画面 : 音声ディレイ量初期化

D	е	1	а	у	R	е	S	е	t			
										0	f	f

VFDの下段右端のOn/Offを+ボタンと-ボタンで選択します。 Onに設定すると音声ディレイ量を再計測します。 Offに設定すると現在の状態を維持します(初期値はOffです)。

7. IPアドレスの設定

- 7.1.SNMP通信IPアドレスの設定
- VAD-2000SRの電源を投入した状態で、ETHER(SNMP)コネクタと Windows PCをLAN 経由で接続します。(クロスケーブル直結または HUB 経由)
 PCのOSがWindowsXP(SP2以降) / WindowsVista / Windows7の場合は、 ソフトの起動前にWindows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。
- Windows PC 上で Web ブラウザを起動し、VAD本体の SNMP通信IPアドレス(http://aaa.bbb.ccc.ddd/)を入力すると 下記画面が表示されます。

メンテナンス シメイン く メニュー システム情報 システム名称 VAD-2000SR シアン 道信設定 システム名称 VAD-2000SR シアン エラー検出ハードウェアバージョン V00 エラー検出ファームバージョン V00 マフトウ設定 ソフトウェアバージョン V00 システム名称 レロン マー シン 市鉄出ファームバージョン V00 ロ目録ユニットファームウェアバージョン V00 回録ユニットファームバージョン V00 ロタコン ロタコン ALVIX Corporation アドレス 109.15.124/24	• •	▼ ページ(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(0)		[ALVIX]機器メンテナンス
メニュー システム情報 シ 通信設定 システム名称 VAD-2000SR シ 加下設定 エラー検出ハードウェアバージョン V00 ン ネットワーク設定 エラー検出ファームバージョン V00 シ 同録ネットワーク設定 アドレス T10 ALVIX Corporation IP アドレス V00	1212	<	> X1)	*)=+`)7
メニュー システム名称 VAD-2000SR >>> 通信設定 エラー検出ハードウェアバージョン V00 ン>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	1		システム情報	
 > 通信設定 > NTP設定 > ネットワーク設定 > 同録ネットワーク設定 ALVIX Corporation エラー検出ハードウェアバージョン V00 マームバージョン V00 ID録ユニットファームバージョン V00 ID録ユニットファームバージョン V00 ID アドレス V00 ID 9.15.124/24 	_	VAD-2000SR	システム名称	-ב_צ
NIP設定 エラー検出ファームバージョン V00 シ ネットワーク設定 ソフトウェアバージョン T10 音声比較ユニットファームウェアバージョン M00 Im録ユニットファームバージョン V00 Im録ユニットファームバージョン V00 IP アドレス 10.9.15.124/24		V00	エラー検出ハードウェアバージョン	> <u>通信設定</u>
 ✓ ホワビワーク設定 > 同録ネットワーク設定 ▲ LVIX Corporation ✓ T10 (フトウェアバージョン) (T10 (百録ユニットファームウェアバージョン) (V00 (同録ユニットファームバージョン) (V00 (IP アドレス) (IO9.15.124/24) 		V00	エラー検出ファームバージョン	> <u>NTP設定</u> 、 ナットローク認守
ingx パン・ファーンジェン ingx パン・ファーンジェン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ファーンジョン ingx パン・ジョン ingx パン・ジョン ingx パン・ジョン volo ingx パン・ジョン ingx パン・シ シ シ シ シ シ シ シ シ ingx パン・シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ		T10	ソフトウェアバージョン	> <u>ホットワーク設定</u>
ALVIX Corporation 同録ユニットファームバージョン V00 IP アドレス 10.9.15.124/24		ン V00	音声比較ユニットファームウェアバージョ	1 HISKIND DEAL
ALVIX Corporation IP アドレス 10.9.15.124/24		V00	同録ユニットファームバージョン	10000000000000000000000000000000000000
		10.9.15.124/24	IP アドレス	ALVIX Corporation

ブラウザ画面左側の「ネットワーク設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、
 IP アドレスの欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
 設定後はVADの電源を再投入します。

🚱 🔾 🗢 🙋 http://10.9.15.124/		🔻 🗟 🍫 🗙 🚰 Google	• م
× Google	▼ 3 検索 ・ W ウィキペディフ	, 🏠 ブックマーク・ 🦥 ・ 詳細 》	🚺 torish • 👋 •
🚖 お気に入り 🛛 🚖 🏉 おすすめサイト	ヽ▼ 🖉 ブラウザーをアップ ヽ		
		📔 🔹 🔝 🖶 🔹 ページ(P) 🔹 セーフティ((S) ▼ ツール(0) ▼ ②▼ [≫]
	> メニュー > ネットワーク設定		<< <u>></u>
	ネットワーク設定		
シ≍ュー	IPアドレス	10.9.15.124	
→ <u>迪信設定</u> → NTP設定	サブネットマスク	255.255.255.0	
>> ネットワーク設定	ゲートウェイ	10.9.15.21	
>> <u>同球ネットリーク設定</u>	設定		
ALVIV Compretion	設定後は機器の再起動が必要です	ŧ.	
ALVIX Corporation			
		- 😝 インターネット 保護モード: 無効	🖗 🔻 🔍 100% 👻

7.2.同録 I P アドレスの設定

 前項と同様の手順で「同録ネットワーク設定」をクリックすると下記画面が 表示されるので、IPアドレスの欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
 前項のSNMP通信IPアドレスと同じアドレスは絶対に設定しないで下さい。
 VADが正常に動作しなくなります。

🕒 🗢 💌 http://10.9.15.124/		👻 🔄 😽 🗙 🚼 Google	ۍ م
× Google	▼ 3 検索 ・ W ウィキペディア	😭 ブックマーク・ 🏭 ・ 詳細 »	👤 torish • 👋 •
🚖 お気に入り 🛛 🚖 🏉 おすすめサイト	▼ 🗿 ブラウザーをアップ… 🔻	h	(244-52)-
		▼ ■ ▼ □ → ページ(P) ▼ セーフテ	ィ(S) ▼ ツール(O) ▼ 🔞 ▼ 🎽
	> メニュー > 同録ネットワーク設?	Ê	< <u>(2472</u>
<u>メンテナンス</u>	同録ネットワーク設定		
	IPアドレス	10.9.15.123	
 	サブネットマスク	255.255.255.0	
>> <u>ネットワーク設定</u>	ゲートウェイ	255.255.255.255	
>> 回録ネットワーク設定	設定		
ALVIX Corporation			
 ページが表示されました		インターネット 保護モード: 無効	🖓 🔹 🕄 100% 💌

7.3.NTPサーバの設定

1)前項と同様の手順で「NTP設定」をクリックすると下記画面が

表示されるので、NTPサーバ名の欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。

(「0.0.0」に設定するとNTPサーバは設定されません)

また、時刻更新間隔を分単位で設定する事が可能です

(最大1440分。0に設定した場合は時刻更新を行いません)

NTPサーバIPアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスや NTPサーバが動作していないPCのアドレスは設定しないで下さい。 VADの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。

🕞 🔾 🗢 🖻 http://10.9.15.124/		👻 💀 🗙 🚼 Google	- م
× Google	▼ 🦂 検索 ・ ・ ・ > >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	√ ☆ ブックマーク・ る い ・ 詳細 ≫	🚺 torish + 🔌 •
🊖 お気に入り 🛛 👍 🏉 おすすめサイト	🔻 👩 ブラウザーをアッフ	f 🔻	
∅ [ALVIX]機器メンテナンス		🏠 🔹 🔝 🔹 🖶 🔹 ページ(P) 🔹 セーフ	ティ(S) ▼ ツール(0) ▼ 🔞 ▼ 🦈
	>メニュー> NTPサーバ	接続設定	< <u> << 2472</u>
	NTPサーバ 接続設	定	
	NTPサーバ名	0.0.0.0	
>> NTP設定	更新間隔(分)	0	
>>> <u>ネットワーク設定</u>	設定		
>> 同録ネットワーク設定			d.
ALVIX Corporation			
ページが表示されました		🙀 🎱 インターネット 保護モード: 無効	4 • • • 100% •

- 7.4.Trap先IPアドレス設定
- 1)前項と同様の手順で「通信設定」をクリックすると下記画面が

表示されるので、Trap先IPアドレスを設定して「設定」ボタンをクリックします。 (Trap先IPアドレスは最大10箇所まで設定可能です)

Trap先IPアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないで下さい。 VADの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。

Google	 ・ 3 検索・ W ウィキペディア 協 	ブックマーク・ 🔐 ・ ボップアップ	/ブ・詳細 » 📓 torish・ 🎝
ಕರ್ಷನಿ 🤹 🍘 ಕೆತ್ತಾಂಕ-	イトマ 📄 ブラウザーをアップ マ		
● [ALVIX]機器メンテナンス) + 🔯 + 🖾 🚔 + ぺ-≶(P)	 セーフティ(5) < ツール(0) < ∅
ポッテナシフ	> メニュー> SNMP設定		<(<u>24</u> 2
771176	コミュニティ		
×=	GETコミュニティ名	public	
>> <u>通信設定</u> >> NTP設定	SETコミュニティ名	public	
>> ネットワーク設定	TRAPコミュニティ名	public	
> 同録ネットワーク設定	トラップ送信先		
	197ドレス1	10.9.15.120	
ALVIX Corporation	10アドレス2		
	IP7Fレス3		
	IPアドレス4		
	197ドレス5		
	IPアドレス6		
	IPアドレス7		
	IP7FL28		
	IP7ドレス9		1
	IP7ドレス10		
	(設定)		
	TRAP上げ先へ存在しないPアドレスは	設定しないでください。機器のパフォー	マンスが着しく低下する原因となります。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製 品についてのアフターサービスは、 お買い上げの販売店におたずねく ださい。

なお、販売店が不明の場合は弊社 へお手数でもご連絡ください。 故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店:

TEL 担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974-1 TEL:0256-93-5035 FAX:0256-93-5038